

「地域の魅力」を住民が発信 2/28

ICT 利活用検討委員会の提案を受け、住民ディレクター養成

自分の土地のことをよく知る住民が自ら情報発信を行う「住民ディレクター」の育ての親であり、全国50以上の地域で養成、普及に努める岸本晃さんが住民ディレクター講演会を開催し、約30人が参加しました。岸本さんは福岡県東峰村で東峰テレビ総合プロデューサーとして活躍するほか、総務省の地域情報化アドバイザーを務めています。岸本さんは「『身体がカメラ』という気持ちで、地域を回り、実践の中で地域の魅力を引き出す工夫をいろいろと試していくことが大事」と参加者に呼び掛けました。



▼住民ディレクターを全国に広める岸本晃さん

動画 de 広報

3人1組となり30秒の自己紹介動画を作成しました

2/15 「あぶとライン」魅力と課題は？

「南アルプスあぶとライン」について考える「千年の学校」基礎講座が開催されました



◀体験乗車をして現状と課題を探った

活発な意見交換が行われ、講師から高い評価を受けました

町の地域資源について学び住民主体のまちづくりを考える「千年の学校」(学長:鈴木町長)の基礎講座が開催され、学生15人が参加しました。参加した学生は、南アルプスアプトセンター社員から講演を受け概要を学び、千頭駅から接叡峡温泉駅間を実際に体験乗車した後、ワークショップにて現状と課題についての意識共有を図りました。

今後は、課題やアイデアを整理し、南アルプスあぶとラインの魅力を高める事業を学生自らが企画・実践することを目指していきます。

交通死亡事故ゼロ連続 1000 日達成！

鈴木町長は「この栄誉を町民全員にお伝えし、交通死亡事故ゼロを継続していきたい」と誓う

町は、平成28年2月11日をもって交通死亡事故ゼロ連続1000日を達成し、県交通安全対策協議会(会長:川勝平太知事)から「交通安全優良町」として表彰されました。

2月24日に町役場本庁舎で行なわれた伝達式では、同協議会事務局である県くらし交通安全課の川上幸文課長から鈴木町長へ、川勝知事の祝辞代読とともに表彰状が授与されました。川上課長から表彰状を受け取った鈴木町長は「今後も町民一丸となって交通安全に努めたい」と決意を新たにしました。



▲川上くらし交通安全課長から表彰状を受けとる鈴木町長



中山間地の可能性を探り、明るい未来へ

3/6

町制施行(合併)10周年記念事業、アートを通じたまちづくりの事例を学び本町の将来を考えました

「明るい未来フォーラム」が町文化会館にて開催され、約80人が来場しました。第1部では特定非営利活動法人グリーンバレー理事長の大南信也さんが講演し、徳島県神山町における、人材の誘致とICTの活用で持続可能な地域を目指す「創造的過疎」の取り組みについて紹介しました。第2部では、(株)シーアイセンターの甲賀雅章さんが司会を務め、大南さんと青森県八戸市芸術環境創造専門員の大澤苑美さん、芸術家の前澤妙子さん(本町出身)、鈴木町長の4人によるディスカッションが行われました。



中山間地のもつ可能性について意見を交わしました

2/20 「学んだ知識生かし、魅力発信を」

川根茶の魅力学ぶ川根茶塾、今年度の修了式が開催されました



今後、塾生たちは川根茶の魅力発信を担っていきます

「川根お茶街道推進協議会」(会長:鈴木町長)は、町農林業センターにて最終回の講座と修了式を開催し、10人の塾生が参加しました。

最終回の講演では、「つちや農園」の土屋鉄郎さん(76歳=水川)が講師を務め、生産者の視点から川根茶の現況を紹介しました。

修了式では、塾長を務める鈴木町長が塾生一人一人に修了証を手渡すと、代表して森越節子さん(64歳=上岸)が「お茶を通じた交流がいか

新型消防車の運用開始

2/29

車両火災や発生初期の火災に強い新型消防車を配備

金谷消防署川根北分遣所の消防ポンプ自動車約20年を経過し、この度新型車両に更新し、島田市消防本部の亀山消防長と大橋金谷消防署長らが本庁舎を訪れ、鈴木町長へ運用開始の報告を行いました。新型車両は現行車両よりもコンパクトになり狭い道でも小回りが利くほか、放水する水に消火薬剤を混ぜ合わせる混合装置を装備し、消火効力の向上を図りました。

亀山消防長は「性能が向上した新型車両を配備することで、町民の皆さまの生命・財産を守るよう努めていきたい」と話しました。



車両はコンパクトになったが、性能は大幅に向上した新型車